

専 門 科 目

問題用紙

<注意事項>

- 1) A～N群のうちから2群を選択し、選択した2群の中からそれぞれ1問について解答すること。
- 2) 選択した問題各1問につき、答案用紙1枚を使用して解答すること。
- 3) 各答案用紙の上段にある枠内に、選択した問題の群、番号および領域名を明記すること。

<例> 「体育・スポーツ経営学」の問題を選択した場合

選択した問題	群	番号	領域名
	C	1	体育・スポーツ経営学

- 4) 答案用紙には、受験番号を必ず記入すること。
- 5) 問題用紙、答案用紙、下書き用紙は、すべて回収するため、持ち帰らないこと。

(筑波大学大学院人間総合科学研究科)

平成30年度博士前期課程体育学専攻入学試験問題(専門科目)

A群

A-1 (体育・スポーツ哲学)

現代スポーツにおける倫理的な問題を2つあげ、それぞれの問題が生ずる背景や理由について説明しなさい。

A-2 (体育史・スポーツ人類学)

グローバル化時代の民族スポーツの役割について、具体例を用いて説明しなさい。

A-3 (武道学)

流派成立の条件について説明しなさい。

B群

B-1 (スポーツ社会学)

1964年と2020年の東京大会を考慮しつつ、オリンピックにおける都市構築について説明しなさい。

B-2 (体育心理学)

運動の学習に関するスキーマ理論について、具体例をあげながら説明しなさい。

C群

C-1 (体育・スポーツ経営学)

市区町村における公共スポーツ施設整備の考え方について述べなさい。

C-2 (スポーツ政策学)

日本と外国のスポーツ政策について、比較しながら説明しなさい。

C-3 (スポーツ産業学)

スポーツ・ツーリズムの社会的影響について説明しなさい。

D群

D-1 (体育科教育学)

次期学習指導要領において打ち出されている資質・能力（コンピテンシー）の3つの柱とアクティブラーニングについて、体育科授業にあてはめて説明しなさい。

D-2 (アダプテッド体育・スポーツ学)

パラリンピックの価値を明確にし、パラリンピック・ムーブメントの目標との関係について説明しなさい。

E 群

E-1 (健康教育学)

ヒトの健康に影響を及ぼすものを、遺伝のほかに 2 つあげなさい。また、それらを健康にとって望ましいものにする要因について説明しなさい。

E-2 (環境保健学)

現在進行している気候変動について、その原因と対策を説明しなさい。

F 群

F-1 (運動生理学)

最大酸素摂取量を規定する要因をあげて、トレーニングによって最大酸素摂取量が増加するしくみを説明しなさい。

F-2 (運動生化学)

持久系アスリートが用いることがあるグリコーゲンローディング（カーボローディング）の方法と効果、ならびにそれらの背景にある機構について説明しなさい。

F-3 (運動栄養学)

デンプンが消化・吸収されて二酸化炭素と水に代謝される過程について、消化酵素や代謝経路に言及しながら説明しなさい。

G 群

G-1 (体力学)

反応時間について、測定の意義と方法を説明しなさい。

G-2 (健康増進学)

ロコモティブシンドロームについて説明し、その予防策を述べなさい。

G-3 (体育測定評価学)

50m 走におけるテストの信頼性を検討する手続きについて説明しなさい。

H 群

H-1 (内科系スポーツ医学)

動脈壁の硬化と年齢および疾患との関係について説明し、運動習慣が動脈壁の硬化度に及ぼす影響を述べなさい。

H・2（外科系スポーツ医学）

スポーツによるケガはスポーツ外傷とスポーツ障害に分けられるが、それぞれの特徴を対比させて説明しなさい。

I 群

I・1（スポーツバイオメカニクス）

高いところから飛び降りた際、膝関節や股関節などを曲げることで、なぜ衝撃力を小さくすることができるのかを説明しなさい。

I・2（応用解剖学）

心臓の構造を解剖学的に図示し、その構造と働きについて血液の流れとともに説明しなさい。

J 群

J・1（コーチング論・トレーニング学）

球技の分類論について、その根拠を示し説明しなさい。

J・2（スポーツ運動学）

創発達成能力と創発分析能力の違いについて説明しなさい。

K 群

K・1（体操コーチング論）

体操指導において、実生活や実社会で運動を継続させるための留意点について述べなさい。

K・2（体操競技コーチング論）

マット運動における前転とびの技術について説明しなさい。

K・3（陸上競技コーチング論）

4×100m リレーにおける望ましいバトンパスについて、オーバーハンドパス、アンダーハンドパスそれぞれの利点、欠点をふまえて説明しなさい。

K・4（水泳競技コーチング論）

競泳競技のレースをいくつかの局面に分け、パフォーマンスを向上させるための要因を各々の局面について説明しなさい。

L 群

L・1（バレーボールコーチング論）

サーブの遂行過程について説明し、その指導上の留意点を述べなさい。

L・2（バスケットボールコーチング論）

「ボールに対する」ディフェンスの個人戦術行為を時系列に従って説明しなさい。

L・3（ハンドボールコーチング論）

オープンディフェンスに対する有効な攻撃戦術について詳しく述べなさい。

L・4（サッカーコーチング論）

サッカーのカウンター攻撃を成功させるために必要な要因について説明しなさい。

L・5（ラグビーコーチング論）

不正なプレーとされる 5 項目について、それぞれ具体的な例をあげて説明しなさい。

L・6（ラケットバットスポーツコーチング論）

テニス、バドミントン、野球、卓球の中から 1 種目を選択して、打球速度を速くするための方法について説明しなさい。

M群

M・1（柔道コーチング論）

柔道における投技の分類について、それぞれの具体例をあげて説明しなさい。

M・2（剣道コーチング論）

剣道における体当たりと受け方の方法およびその指導上の留意点について説明しなさい。

M・3（弓道コーチング論）

近的競技と遠的競技の特性および使用弓具の相違について説明しなさい。

N群

N・1（野外運動論）

自然体験活動で実施されるイニシアティブ系のゲームについて、体験学習サイクルの視点から学習展開を説明しなさい。

N・2（舞踊論）

中学校の学習指導要領解説における「創作ダンス」の「多様なテーマと題材や動きの例示」について説明しなさい。